

# 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
1883	明治16年 6月	鎮西日報（長崎県立図書館蔵）に水道建設を勧める記事が掲載	
1889	22年 4月		市町村制施行（1町11村）
1898	31年 8月		伊万里～有田間に鉄道開通
1900	33年 12月		大岳村を波多津村と改称
1902	35年 4月		伊万里町外4か村立伊万里商業学校創立（現県立伊万里商業高等学校）
1909	42年		久原炭鉱・向山炭鉱開鉱
1912	45年	創設事業設計に着手	
1913	大正 2年 11月	伊万里町が内務大臣から水道創設の認可を受ける	
1914	3年 2月	水道創設事業着工	
1915	4年 1月	創設事業完成（計画給水人口10,000人 1日最大給水量 1,250m <sup>3</sup> ）	
1916	5年 4月		伊万里町立伊万里実科女学校設置（現県立伊万里高等学校）
1917	6年 4月		西松浦郡立西松浦農学校創立（現県立伊万里農林高等学校）
1925	14年 4月	通水10周年記念式典	
1928	昭和 3年 12月		伊万里町に牧島村が合併
1930	5年 3月		伊万里～楠久間の鉄道開通 10月に今福まで延長開通
1935	10年 3月		伊万里～唐津間に鉄道開通
1936	11年 4月		西山代村、町制を施行し山代町となる
1939	14年 1月	上水道第1次拡張事業の認可 同事業着工	
	5月	上水道第1次拡張事業完成（漁港地区への拡張）	
1941	16年		立川炭鉱開鉱
1943	18年 12月		伊万里町に大坪村・大川内村が合併
1945	20年 4月		県立伊万里中学校設立開校（現県立伊万里高等学校）
1947	22年 12月	上水道第2次拡張事業認可着工	
1948	23年 12月	上水道第2次拡張事業完成（揚水場の増強）	
1951	26年 2月		人形石山地すべり
1952	27年 4月	地方公営企業法制定	
	6月	上水道第3次拡張事業認可 同事業着工	
	11月		
1954	29年 4月		伊万里市制施行（2町7ヶ村合併） 第1回臨時市議会開会（議員総数182人） 初代市長 橋口四郎当選 初代助役 山口正次就任 初代収入役 大川内善次就任
	5月		伊万里湾臨海工業地帯造成計画立案さる
	8月		東新町で大火災発生（死者5人）
1955	30年 1月		市議会議員選挙（定数36人）
	3月		豪雨襲来（死者1人、床下浸水600戸、被害総額1億円）
	4月		県内でテレビ受信がはじまる 市役所各支所を出張所に改める
1956	31年 4月		
	6月		
	11月	上水道第3次拡張事業完成（計画給水人口21,000人・1日最大給水量4,500m <sup>3</sup> ）	
1957	32年 3月	民営松浦町岳坂簡易水道完成（計画給水人口140人・1日最大給水量20m <sup>3</sup> ）	
	6月	水道法制定	
	7月		山代町西大久保 人形石山地すべり（死者7人・家屋埋没21戸）
	11月	波多津簡易水道完成（計画給水人口2,000人・1日最大給水量184m <sup>3</sup> ）	
	12月	水道法施行令及び同法施行規則制定	
1958	33年 4月		市長 橋口四郎二選
	8月		第2代助役 児島清彦就任 収入役 大川内善次再任



第3次拡張事業完成時の記念品



前田家住宅

## 年表




西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
1959	昭和34年 4月	民営山代町久原1区簡易水道完成 (計画給水人口820人・ 1日最大給水量98m <sup>3</sup> )	二里中学校・東山代中学校を統合して 国見中学校開校
	9月 12月	民営黒川町花房飲料水供給施設完成 (計画給水人口55人・ 1日最大給水量10m <sup>3</sup> )	市消防署を設置
1960	35年 3月 10月	民営山代町久原3区簡易水道完成 (計画給水人口500人・ 1日最大給水量35m <sup>3</sup> )	東山代干拓 (56ha) 完成
	11月	民営山代町久原2区簡易水道完成 (計画給水人口1,000人・ 1日最大給水量150m <sup>3</sup> )	
1961	36年 1月 2月		第3代助役 大川内善次就任 第2代収入役 脇山平作就任
1962	37年 4月	上水道事業を地方公営企業法の適用 事業とする 波多津簡易水道特別会計を設置	第2代市長 山口正次当選
	6月		第4代助役 竹内通教就任 第3代収入役 田中藤太就任
1963	9月 10月	楠久簡易水道建設事業着工	二里町福母で大火 (8戸・18棟全半焼) 福川内炭鉱閉山 東山代炭鉱・脇田炭鉱閉山 福久炭鉱・大川炭鉱閉山 久原炭鉱閉山 向山炭鉱・浦ノ崎炭鉱閉山 伊万里ガス設立 国見台総合グラウンド完成 第16回佐賀県民体育大会開催
	38年 1月 2月 3月 7月	楠久簡易水道完成 (計画給水人口 4,780人・1日最大給水量717m <sup>3</sup> )	
	8月 9月		
	12月	上水道第4次拡張事業認可	
	1964	39年 1月 2月 3月 4月 9月	
1965	40年 12月 2月 4月	上水道第4次拡張事業着工 民営山代町久原1区簡易水道第1次 拡張事業完成 (計画給水人口2,000人・ 1日最大給水量200m <sup>3</sup> ) 民営山代町久原2区簡易水道第1次 拡張事業完成 (計画給水人口1,500人・ 1日最大給水量225m <sup>3</sup> )	福島大橋 架橋工事着工
	5月 10月		伊万里港を「植物検疫率特定港」に指定 税関伊万里監視署開設
1966	41年 11月	民営山代町城簡易水道完成 (計画給水人口300人・ 1日最大給水量30m <sup>3</sup> )	国鉄伊万里～呼子線びょう打式 市内10農協合併 伊万里市農業協同 組合発足
	12月	民営東山代町大久保簡易水道完成 (計画給水人口1,000人・ 1日最大給水量250m <sup>3</sup> )	
	41年 1月 4月 6月		長浜工業団地造成はじまる 市長 山口正次二選 伊万里玉屋開店 市議会議員定数減条例案可決 (36人→30人) トラヒスト修道院献堂式
	7月 9月	地方公営企業法改正 民営東山代町日南郷飲料水供給施設 完成 (計画給水人口75人・ 1日最大給水量12m <sup>3</sup> )	



取り追う祭り

## 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
1966 1967	41年10月 42年 3月		第19回県民体育大会開催 松栄化学工業(株)九州工場操業 西部道路(株)伊万里生コン工場操業 伊万里外材(株)操業 3税集合徴収制始まる
	4月		
1968	5月	松浦簡易水道完成 (計画給水人口1,800人・ 1日最大給水量300m <sup>3</sup> )	伊万里港「開港」指定 (大蔵省) 7.9災害 (豪雨) 発生 被害総額120億 円に達する (死者12人、重軽傷者435人) 伊万里港「木材輸入特定港」の指定を 受ける
	6月 7月		
	9月	異常干ばつによる給水制限 2日～10日 (6時間断水) 11日～19日 (14時間断水) 20日～23日 (18時間断水) 24日～10月13日 (20時間断水)	
	10月		伊万里陶業(株)操業 福島大橋開通 伊万里港「出入国管理港」に指定 市農協有線放送施設完成 高砂工業(株)伊万里工場操業
	11月 12月		
	43年 1月 3月	上水道第4次拡張事業完成 (計画給水人口30,000人・ 1日最大給水量9,000m <sup>3</sup> ) 簡易水道特別会計 (波多津・楠久・ 浦ノ崎・松浦) を統合 民営山代町東分簡易水道完成 (計画給水人口200人・ 1日最大給水量30m <sup>3</sup> ) 料金徴収事務の委託制度を採用	 42年水害時の水道課
	4月		立花台地開発計画を発表 県文化財に南波多町「府招の舞い浮立」 を指定 国見炭鉱・楠久炭鉱閉山 高尾山・大平山・竹の古場公園を玄海 国定公園に編入
	5月		九州東洋プライウッド(株)操業
	7月		大川小学校立川分校閉校 第1回商工春まつり開催 南波多町大野岳自然公園開園
	9月 12月	工業用水基本計画を策定	
1969	44年 2月 4月	工業用水道建設計画決定 工業用水道室を設置 実測測量始まる	
	5月 6月 8月 9月	工業用水道事業認可	(株)協電カッタコア製作所操業 伊万里湾河口湖の淡水化模型実験 始まる
1970	12月	干ばつによる給水制限 7日～12日・20日～28日 (9時間断水)	県道伊万里～呼子線を国道204号線 に振替内定 助役 竹内通教退任 中央公民館開館 岩尾磁器工業(株)伊万里工場操業
	45年 3月		第3代市長 竹内通教無投票当選 第5代助役 西村正俊就任 第4代収入役 山口数雄就任
	4月 5月	メーター使用料の徴収を廃止	
1971	7月	工業用水道「長浜ダム」築造工事着工	伊万里港「植物輸入港」に指定 門司植物検疫所伊万里出張所開所 立川炭業所閉山 市内の鉱山の灯が すべて消える 八幡岳を県立自然公園に指定 市営国見台野球場完成
	8月 9月 10月		
	46年 3月	上水道第5次拡張事業1期工事認可 (閉山水道) 滝川内簡易水道完成 (計画給水人口400人・ 1日最大給水量60m <sup>3</sup> ) 上水道第5次拡張事業1期工事着工 竜門ダム建設はじまる	長谷川被服(株)伊万里工場操業 広城市町村圏を指定 (佐賀県1市2町・長崎県2市6町1村) 県総合庁舎 坂口台地に移転



玄海国定公園竹の古場



# 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
1971	昭和46年10月		市民会館こけら落し 伊万里港「検疫港」に指定 佐世保検疫所伊万里出張所開所 市庁舎着工 (株)伊万里大國段ボール操業 七ツ島工業団地造成はじまる
1972	47年 4月		
	6月		
	8月	(閉山水道)大川簡易水道完成 (計画給水人口3,000人・ 1日最大給水量500m <sup>3</sup> )	市農協会館完成
	9月		
	10月	民営南波多町大川原簡易水道完成 (計画給水人口280人・ 1日最大給水量80m <sup>3</sup> )	
	11月		市の木(マキ)市の花(ツツジ)を選定
	12月	民営波多津町中山簡易水道完成 (計画給水人口300人・ 1日最大給水量30m <sup>3</sup> )	
1973	48年 3月		
	4月	メーター検針業務を民間委託	国道202号バイパス一部開通 銀天街アーケード完成
	5月	給水負担金の徴収を決定	
	8月		
	9月	(鉱害水道)福川内簡易水道完成 (計画給水人口250人・ 1日最大給水量37m <sup>3</sup> )	市役所 新庁舎へ移転 部制に改組 広域市町村圏電子計算センター 業務開始 (株)伊万里鉄工センター操業 (株)名村造船所伊万里工場操業 重橋手漉き和紙・松浦源氏創成期遺跡 (山ノ寺)を市重要文化財に指定 市長 竹内通教無投票二選 伊万里バスセンター開設 助役 西村正俊再任 収入役 山口数雄再任 福岡入国管理事務所伊万里出張所開設
1974	49年 3月		
	4月	水道事業管理者 森山茂就任	
	5月		
	8月	工業用水道長浜ダム完成 (有効貯水量443,000m <sup>3</sup> ・ 給水能力7,000m <sup>3</sup> /日)	
1975	50年 3月	上水道第5次拡張事業2期工事の認可 料金算定、納入通知書作成業務 を電算化	はしこ付消防自動車配備
	4月		
	6月	電門ダム完成 (有効貯水量 2,350,000m <sup>3</sup> 市水道容量 789,000m <sup>3</sup> )	国道202号バイパス開通
	10月	水道料金改定(家庭用に5m <sup>3</sup> 未満を 新設)	
	12月	給水負担金改定 上水道第5次拡張事業1期工事完成 (電門ダム建設費用負担、導水管布設、 計画給水人口43,000人、 1日最大給水量22,000m <sup>3</sup> )	42年水害時の給水風景
1976	51年 7月	水道審議会を設置	国民体育大会秋季大会(ホッケー・軟式 野球)開催
	10月		
1977	52年10月		「伊万里・有田焼」を国の伝統的工芸品産業 に指定 国見有料道路開通 県経済連食鳥センター操業 市長 竹内通教三選 助役 西村正俊再任 第5代収入役 前山俊夫就任
1978	53年 3月		
	4月	上水道第5次拡張事業2期工事着工	
	5月	民営二里町福母簡易水道完成 (計画給水人口200人・ 1日最大給水量40m <sup>3</sup> )	
	6月	水道事業管理者 森山茂死去	九州シミセ工業(株)操業 県立伊万里養護学校開校 市民病院新築落成
1979	54年 4月		
	5月		
	8月	給水負担金改定	
	10月	上水道第6次拡張事業認可 同事業着工	
	11月		片岡繁男作詞 團伊玖磨作曲 「交響詩 伊万里」発表



海のシルクロード館

# 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
1980	昭和55年 3月	浦ノ崎簡易水道拡張事業完成 (計画給水人口3,600人・ 1日最大給水量915m <sup>3</sup> )	公共下水道事業着工
	4月	簡易水道別料金体系を上水道料金体系 に統一する	
	5月	上水道第6次拡張事業のうち永山・屋敷野 ・脇野・浦川内・東大久保地区給水開始 (計画給水人口3,700人・ 1日最大給水量925m <sup>3</sup> )	
	7月	水道事業管理者 早田善信就任	助役 西村正俊退任 第6代助役 富村繁雄就任 佐賀大学七ツ島実験プラントで海洋温度差 発電に成功 伊万里小学校の移転新築なる
	8月	簡易水道課を新設	
1981	56年 3月	楠久簡易水道拡張事業完成 (計画給水人口4,780人・ 1日最大給水量1,717m <sup>3</sup> )	平山地区への送水管工事
	4月	上水道第6次拡張事業のうち 平山・脇田地区給水開始 (計画給水人口400人・ 1日最大給水量100m <sup>3</sup> )	
	6月	波多津簡易水道拡張事業完成 (計画給水人口2,000人・ 1日最大給水量400m <sup>3</sup> )	ベラウ共和国ウエキ大臣来伊 市総合計画を策定
	11月	民営山代町城簡易水道改良工事完成 (計画給水人口240人・ 1日最大給水量46m <sup>3</sup> )	
1982	57年 3月	上水道第5次拡張事業2期工事完成 (排水処理施設及びろ過池・配水管の 増強)	環境センター完成
	4月	楠久簡易水道を上水道に統合	市長 竹内通教無投票四選 収入役 前山俊夫再任
	5月		
	7月	長崎大水害発生 給水車派遣	
	8月	上水道第7次拡張事業認可	
	9月	松浦簡易水道拡張事業着工	
	10月	上水道第7次拡張事業着工	
1983	58年 2月	民営山代町久原1区簡易水道第2次拡張 事業完成(計画給水人口800人・ 1日最大給水量430m <sup>3</sup> )	唐津海上保安部伊万里分室開設 小野田セメント・新日鉄化学のセメント サービスステーション完成 20年計画による地籍調査事業に着手 財務会計の電算化はじまる 伊万里太鼓発足
	4月		
	5月	水資源開発推進協議会発足(県・市)	
	7月	施設課維持係を漏水対策係に改組	
	9月	相関式漏水探知機「コレレーター」を導入	重要港湾伊万里港、港則法による特定港 に昇格 「佐賀厚生年金休暇センター」オープン 県経済連米飯加工場操業
	10月		
1984	59年 2月	上水道黒川配水池完成 (容量1,000m <sup>3</sup> )	九州電子金属(株)伊万里事業所操業 (現 SUMCO) 伊万里市大川内山鍋島藩墓公園完成
	3月	上水道第7次拡張事業のうち二里町中田・ 川内・野添地区給水開始 (計画給水人口300人・ 1日最大給水量75m <sup>3</sup> )	
		(鉱害水道)山代町峰簡易水道完成 (計画給水人口165人・ 1日最大給水量70m <sup>3</sup> )	
	4月	民営大川町東田代飲料水供給施設完成 (計画給水人口90人・ 1日最大給水量18m <sup>3</sup> )	大坪小学校から分離して「立花小学校」 開校 滝野小学校日南郷分校・下分分校閉校 伊万里山岳会がヒマラヤメラブイク登山に成功
	5月	有田川水系水道事業研究会発足	助役 富村繁雄再任 市制30周年記念式典挙行 伊万里から初の大蔵大臣(山下運輸大臣)
	7月		
	11月		
1985	60年 1月	総務部に工業用水開発準備室を設置	



浦ノ崎駅並木



# 年表







西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと				
1985	昭和60年	2月	松浦簡易水道拡張事業完成 (計画給水人口3,050人・ 1日最大給水量700m <sup>3</sup> )				
		3月	上水道第7次拡張事業完成 二里町古子地区給水開始 (計画給水人口150人・ 1日最大給水量35m <sup>3</sup> )				
		4月	総務部工業用水開発準備室を水道部 工業用水道室に改組				
		6月	(鉱害水道)上大久保簡易水道新設 事業調査はじまる				
		8月	上水道第8次拡張事業認可 大川簡易水道拡張事業認可				
		10月	伊万里港岸壁給水開始				
		11月	大川簡易水道拡張事業着工				
		12月	上水道第8次拡張事業着工				
		1986	61年		3月		テレピアモデル都市指定 黒川小学校・同校立目分校・東黒川小学校 統合に伴い黒川小学校開校 市長 竹内通教五選 収入役 前山俊夫退任 第6代収入役 益田喜一就任 市天然記念物指定「カブトガニ繁殖地」 (木須町多々良海岸海域) 「ドレミのかけ橋」開通 「伊萬里津大橋」開通 衆議院議員山下徳夫氏総務庁長官就任
					4月		市重要文化財に田嶋神社本殿と岳神社 拝殿・神殿を指定
					5月		国際観光モデル地区指定(2市4町) (佐賀セラミックバレー 伊万里市、武雄市、 嬉野町、山内町、有田町、西有田町)
					7月		台風12号 被災総額約30億円
8月	第40回県民体育大会開催						
11月							
1987	62年	1月	都川内ダム建設予備調査着手	7月	水道業務(水道料金)にオフコン導入		
		4月		大川簡易水道第3次拡張事業			
		6月					
1988	63年	1月	上大久保簡易水道完成 (計画給水人口108人・ 1日最大給水量24.3m <sup>3</sup> )	松浦鉄道(株)(MR西九州線)開業 助役 富村繁雄再任 伊万里市公共下水道終末処理場建設 工事完成			
		3月	大川簡易水道拡張事業完了				
		4月	(株)黒川商会工水給水開始				
		7月					
		12月					
1989	平成 元年	3月	上水道第8次拡張事業第1期工事 (南波多町・黒川町東部)完了	社団法人伊万里シルバー人材センター発足			
		4月	消費税課税始まる。水道料金・工業用 水道料金 外税で3%課税 第2工業用水道建設着手				
		7月					
		8月					
1990	2年	4月	水道事業管理者 松園家晴就任	伊万里ケーブルテレビジョン(株)設立 (伊万里有線テレビ解散) 日蘭修好380周年記念 伊万里オランダ フェスティバル'89開催 衆議院議員 山下徳夫氏内閣官房長官就任 市長 竹内通教六選 7/2集中豪雨(被害総額43億9,855万円) 750kmリレーマラソンで明星桜大阪 「花博」里帰り 第7代収入役 鹿保就任 第1回「どっちゃん祭り」開催 公共下水道「伊萬里津中継ポンプ場」完成 啓成中学校開校			
		7月					
1991	3年	4月	民営脇田町岩立飲料水供給施設完成 (計画給水人口80人・ 1日最大給水量20.0m <sup>3</sup> )	移動図書館「ぶっくん」スタート 人工海水浴場「イマリンビーチ」オープン 伊万里市陶器商家資料館開館 台風17号・19号の直撃(被害総額25億 6,500万円)			
		6月	都川内ダム建設準備着手				
		7月					
		9月					



伊万里湾大橋

# 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと	
1991	平成 3年	10月		伊万里山岳会が未踏峰チェオ・ヒマール に初登頂 衆議院議員山下徳夫氏厚生大臣就任
		11月		
		4年		第2工業用水道基幹施設完成 藤川内簡易水道給水開始 (計画給水人口300人・ 1日最大給水量83.0m <sup>3</sup> ) 工業用水道室を工業用水道課に改める
		3月		
		4月		
		10月		大川簡易水道第4次拡張 民営松浦町北野飲料水供給施設完成 (計画給水人口48人・ 1日最大給水量12m <sup>3</sup> )
		5年		市民センターオープン 大川中学校・松浦中学校閉校、 東陵中学校開校
		7月		市役所週休2日制実施 昭和金属伊万里(株)竣工 重橋手漉和紙が佐賀県伝統的地場産品 に指定
		10月		山口正次氏名誉市民となる 第4代市長 川本明当选
		1994		6年
4月				
5月	上水道12時間断水開始/配水管のバルブの開閉作業			
7月	第8代収入役 中島善明就任 伊万里港貿易船入港5,000隻			
8月	第7代助役 増本嘉臣就任			
1995	7年	3月		濁水対策本部設置 25日～26日(12時間断水) 3日～4日(12時間断水)
		5月		伊万里東洋(株)竣工式 第47回県民体育大会開催 市制施行40周年記念式典
		7月		緊急時給水拠点確保事業(第3号配水池) 完成 竜門ダム貯水率0% 濁水対策本部解散 (竜門ダム貯水率90.1%)
		10月		伊万里市民図書館開館 道の駅「伊万里」開駅式(伊万里ふるさと村)
		11月		
1996	8年	3月		第3工業用水道長浜浄水場通水式 水道料金改定(内税3%)
		4月		第8代助役 椎葉隆司就任 伊万里市議会議長 江頭橋次氏地方自治 功勞により藍綬褒章受賞 世界焔の博覧会開幕(87日間) NHKのど自慢(市民会館)
		5月		
		7月		
1997	9年	10月		世界焔の博覧会閉幕(入場者数約250万人)
		1月		伊万里港セツ島コンテナターミナル供用開始 西九州自動車道唐津伊万里道路整備計画 区間に決定
		2月		消費税率変更のための料金改訂のお知らせ
		3月		第9次拡張事業認可 井手口川ダム建設事業着手 消費税率変更のための料金改定 (内税5%) 木場簡易水道完成 (計画給水人口200人・ 1日最大給水量50.0m <sup>3</sup> ) 井手口川ダム建設に関する協定書締結
		4月		



伊万里梨

## 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
1997	平成 9年 8月		伊万里港開港30周年記念「みなと伊万里よかとこ祭り」開催・日本丸寄港
	12月	民営波多津町津留飲料水供給施設完成 (計画給水人口32人・1日最大給水量6.4m <sup>3</sup> ) 民営波多津町筒井飲料水供給施設完成 (計画給水人口48人・1日最大給水量9.6m <sup>3</sup> )	
1998	10年 2月		伊万里市累積鉱害解消記念式典
	3月		伊万里港「動物検疫港」に指定
	4月		市長 川本明再選
	5月		収入役 中島善明再任
1999	10月		黒澤明記念館の設立等に関する契約締結
	11年 5月	県営都川内ダム建設工事着工	
	6月		第4次伊万里市総合計画策定
	7月		黒澤明記念館サテライトスタジオ開館
2000	9月	民営山代町西大久保飲料水供給施設完成 (計画給水人口98人・1日最大給水量22.8m <sup>3</sup> )	
	11月		竹内通教氏名誉市民となる 市制施行45周年記念式典
	12月	㈱古賀物産工水給水開始	
	12年 4月	都川内ダム定礎式	介護保険制度スタート 青嶺中学校開校式 (黒川中学校・波多津中学校閉校) 国道498号線松浦バイパス全線開通 桃川親水公園落成式 ㈱岩倉製作所操業開始 東洋水産㈱伊万里即席麺工場操業開始 ㈱フタバ伊万里第2工場操業開始 藤友物流㈱工場操業開始
2001	13年 1月	 都川内ダム竣工式	古伊万里からくり時計「万里音」完成 新世紀記念事業(1月1日)2001発火花打上(伊万里団地内・伊万里湾大橋付近) 坂本飼料㈱佐賀営業所操業開始 マリネット㈱第2工場操業開始
	3月	マリネット㈱工水給水開始	
	4月	川内野簡易水道完成 (計画給水人口250人・1日最大給水量70.0m <sup>3</sup> )	
	7月		テラサキ伊万里㈱操業開始
	8月	都川内ダム「湖底まつり」	
	9月		第54回県民体育大会開催
	10月	都川内ダム閉塞式	
	11月		㈱SUMCO伊万里工場操業開始
	14年 4月	民営波多津町主屋飲料水供給施設完成 (計画給水人口48人・1日最大給水量12.0m <sup>3</sup> )	第5代市長 塚部芳和当選
	5月	井手口川ダム補償基準協定調印	第9代助役 前田和人就任
6月		第9代収入役 吉富常彦就任	
7月	第3工業用水道事業本格給水開始	伊万里・西松浦地区任意合併協議会設置	
10月		第1回さわやか伊万里タウンミーティング開催(山代公民館) 伊万里市駅ビルオープン	
2002	11月	都川内ダム竣工式	
	15年 3月		伊万里湾大橋(臨港道路久原瀬戸線)開通 伊万里湾大橋開通記念ロードレース大会 佐賀水会議における佐賀宣言調印式(参加10ヶ国の首脳等による) 立花公民館開館 日本水産㈱伊万里油飼工場起工
2003	4月	民営波多津町柿原飲料水供給施設完成 (計画給水人口25人・1日最大給水量5.0m <sup>3</sup> ) 民営波多津町土屋飲料水供給施設完成 (計画給水人口29人・1日最大給水量6.0m <sup>3</sup> ) 大川簡易水道浄水場運転管理民間委託開始 水道法改正・水道水鉛規制強化	
	6月		伊万里団地内に佐賀大学海洋エネルギー研究センターが開所
	8月		中国木材㈱集成材工場起工
	10月	第9次拡張事業の内容変更の認可	㈱伊万里木材市場竣工



伊万里津大橋

## 年表



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
2003	平成15年11月	日本水産㈱伊万里油飼工場工水給水開始	中国・大連港との定期コンテナ航路開設 第1船入港 伊万里サステイナブルフロンティア知的特区が構造改革特別区域計画として認定 山下徳夫氏名誉市民となる 松浦公民館改築落成
2004	16年 3月	民営山代町荒添飲料水供給施設完成 (計画給水人口25人・1日最大給水量6.2m <sup>3</sup> )	
	4月	中国木材㈱工水給水開始 ハンディターミナル検針開始 水道・下水道納付書一元化 松浦簡易水道浄水場運転管理民間委託開始	伊万里・有田地区衛生組合火葬場「やすらぎ斎苑」供用開始 都市計画道路 伊万里駅前線(通称伊万里大通り)開通式 市制施行50周年記念式典・アトラクション事業開催 山代東小学校改築落成式 西九州木材事業協同組合進出協定調印 ㈱名村造船所進出協定調印(事業拡張) 中国・上海航路開設 伊万里・西松浦地区任意合併協議会廃止 コミュニティバス「いまりんバス」運行開始
	5月		第45回都市対抗県内一周駅伝大会初優勝
	7月	第9次拡張事業工事着手	「福岡県西方沖地震」発生 伊万里市でも震度4.2を記録
2005	17年 1月		大渡鉄工所進出協定調印
	2月		伊万里市食のまちづくり宣言
	3月		第78回選抜高等学校野球大会に伊万里商業高等学校が出場
	4月	工業用水道課を廃止し工務課工業用水道係を設置	市長 塚部芳和二選(無投票) 清本鐵工㈱進出協定調印 ㈱SUMCO伊万里団地への進出協定調印
2006	平成18年 3月	波多津簡易水道第4次拡張事業認可	伊万里湾大橋球技場完成 ㈱ゼネシス進出協定調印 伊万里市民賞創設 第1号 古竹隆幸氏受賞 第24回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会開催 第78回選抜高等学校野球大会に伊万里商業高等学校が出場
	4月	第9次拡張事業により福川内簡易水道及び福母民営簡易水道を上水道に統合し給水開始	
	5月	工務課工業用水道係を廃止し工務課工業用水道室を設置	
	6月	「工業用水対策庁内プロジェクト会議」を発足	
2007	7月	工務課工業用水道室を廃止し工業用水道開発室を設置	吉富常彦収入役が退任し収入役を廃止 伊万里市環境基本条例施行 伊万里市学校給食センター供用開始 集中豪雨による災害(死者3名、被害甚大) 福富晃希君 伊万里市民賞受賞(第2号)
	9月		
	12月		
	平成19年 2月	第4工業用水道事業住民説明会を開催	「伊万里・北松地域広域市町村圏組合」解散(広域電子計算センター閉鎖) 伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園の新築移転 「小麦の家」がNPO法人で全国初の特定信書便事業を開始 「家読」スタート 全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会開催 伊万里港開港40周年記念事業「新海流IMARI'2007」開催 酒谷恵美さん 伊万里市民賞受賞(第3号) ㈱かねは食品進出協定調印 ㈱SUMCO伊万里団地への進出協定調印(事業拡張)
2008	3月		松尾克美さん 伊万里市民賞受賞(第4号) 長寿医療制度(後期高齢者医療制度)スタート
	4月	料金及び会計システムの導入	
	5月	松浦簡易水道拡張により北野地区へ給水開始	第61回県民体育大会開催
	10月		西九州自動車道(伊万里市域)着工式 県道黒川・松島バイパス開通
2009	平成21年 3月	㈱SUMCOソーラ工場工水給水開始	
	4月	㈱奈雅井工水給水開始	
	5月	波多津簡易水道第4次拡張事業により波多津町筒井・井野尾等に給水開始(民営波多津町加倉・筒井及び主屋飲料水供給施設を統合) 井手口川ダム定礎式	
	6月		第5次伊万里市総合計画策定
	7月	第4工業用水道給水開始	
	8月		第91回全国高等学校野球選手権大会に伊万里農林高等学校が出場




伊万里牛



Anniversary

# 年表

◆◆

西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
2009	平成21年10月		マスコットキャラクター「いまりんモーモちゃん」誕生 池田衣那さん 伊万里市民賞受賞(第6号) 第1回家読サミットin伊万里開催 市制施行55周年記念式典開催
2010	11月 22年 2月 3月	第4工業用水道竣工式 浦ノ崎簡易水道第3次拡張事業認可	大川町コミュニティセンター開館 (株)ビュール進出協定調印 市長 塚部芳和三選
2011	4月 7月 8月 23年 1月 11月	工業用水道開発室を廃止し 工業用水道課を設置	第10代副市長 江頭興宣就任 伊万里港が「重点港湾」に選定 国見中学校落成式 「伊万里まちなか一番館」オープン 伊万里港が「日本海側拠点港国際海上 コンテナ部門」に選定
2012	12月 24年 3月 4月 6月 7月	井手口川ダム(本体)竣工式 上水道拡張(原屋敷・大野岳地区) 及び有田川浄水場更新事業認可 浦ノ崎簡易水道第3次拡張事業により 山代町野々頭地区へ給水開始 第9次拡張事業により二里町炭山地区 及び波多津町畑津、内野地区へ給水開始 (民営波多津町柿原及び 土屋飲料水供給施設を上水道に統合) 第9次拡張事業竣工式 有田川浄水場更新事業着手 大川浄水場供用開始 第9次拡張事業により大川、松浦、 藤川内簡易水道及び松浦町岳坂民営 簡易水道を上水道に統合並びに 梅岩地区へ拡張し給水開始	伊万里有田共立病院開院 川南造船所部品工場跡建物解体 伊万里休日・夜間急患医療センター新築移転
			 9次拡張事業竣工式
2013	25年 1月 4月 5月 6月 7月 11月	工務課においしい水プロジェクト室を 設置し簡易水道係を廃止 水道管路管理システムの導入 浦ノ崎簡易水道新浄水場供用開始 波多津簡易水道(深谷地区)及び 木場簡易水道(大知木地区)拡張事業着手	伊万里高等学校弓道部女子チーム 伊万里市民賞(第7号) 伊万里港七ツ島国際コンテナターミナルを 拡張し供用開始
			第95回全国高等学校野球選手権大会に 有田工業高等学校が出場 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設 建設工事起工式
2014	26年 3月 4月 5月 7月 10月 11月	浦ノ崎簡易水道浄水場竣工式 消費税率改正のための料金改定(内税8%) 新地方公営企業会計基準の適用 上水道拡張事業により大坪町屋敷野 民営飲料水供給施設を統合及び 南波多町大野岳地区へ拡張し給水開始 有田川浄水場建設工事安全祈願祭及び 起工式	伊万里・有田消防組合 発足 市長 塚部芳和四選
2015	27年 1月 2月	おいしい水ペットボトル「眉山の雫」製造	副市長 江頭興宣再任 日本新電力(株)進出協定締結 市制施行60周年記念式典開催 伊万里ハーフマラソン2015開催 西九州自動車道唐津伊万里道路 南波多谷口IC開通



ぶどう



西暦	年次	水道事業の動き	伊万里市のできごと
2009	平成21年10月		マスコットキャラクター「いまりんモーモちゃん」誕生 池田衣那さん 伊万里市民賞受賞(第6号) 第1回家読サミットin伊万里開催 市制施行55周年記念式典開催
2010	11月		
	22年 2月 3月	第4工業用水道竣工式 浦ノ崎簡易水道第3次拡張事業認可	大川町コミュニティセンター開館 ㈱ビュール進出協定調印 市長 塚部芳和三選
2011	4月	工業用水道開発室を廃止し 工業用水道課を設置	
	7月 8月		第10代副市長 江頭興宣就任 伊万里港が「重点港湾」に選定 国見中学校落成式 「伊万里まちなか一番館」オープン
	23年 1月 11月		伊万里港が「日本海側拠点港国際海上コンテナ部門」に選定
2012	12月	井手口川ダム(本体)竣工式	
	24年 3月	上水道拡張(原屋敷・大野岳地区)及び有田川浄水場更新事業認可	伊万里有田共立病院開院 川南造船所部品工場跡建物解体
	4月	浦ノ崎簡易水道第3次拡張事業により山代町野々頭地区へ給水開始 第9次拡張事業により二里町炭山地区及び波多津町畑津、内野地区へ給水開始 (民営波多津町柿原及び土屋飲料水供給施設を上水道に統合)	伊万里休日・夜間急患医療センター新築移転
	6月	第9次拡張事業竣工式 有田川浄水場更新事業着手	
2013	7月	大川浄水場供用開始 第9次拡張事業により大川、松浦、藤川内簡易水道及び松浦町岳坂民営簡易水道を上水道に統合並びに梅岩地区へ拡張し給水開始	 9次拡張事業竣工式
	25年 1月		伊万里高等学校弓道部女子チーム 伊万里市民賞(第7号)
	4月	工務課においしい水プロジェクト室を設置し簡易水道係を廃止 水道管路管理システムの導入	伊万里港七ツ島国際コンテナターミナルを拡張し供用開始
	5月 6月	浦ノ崎簡易水道新浄水場供用開始 波多津簡易水道(深谷地区)及び木場簡易水道(大知木地区)拡張事業着手	
	7月 11月		第95回全国高等学校野球選手権大会に有田工業高等学校が出場 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設工事起工式
2014	26年 3月 4月	浦ノ崎簡易水道浄水場竣工式 消費税率改正のための料金改定(内税8%) 新地方公営企業会計基準の適用 上水道拡張事業により大坪町屋敷野民営飲料水供給施設を統合及び南波多町大野岳地区へ拡張し給水開始	伊万里・有田消防組合 発足 市長 塚部芳和四選
	5月	有田川浄水場建設工事安全祈願祭及び起工式	
	7月 10月 11月	おいしい水ペットボトル「眉山の雫」製造	副市長 江頭興宣再任 日本新電力㈱進出協定締結 市制施行60周年記念式典開催 伊万里ハーフマラソン2015開催 西九州自動車道唐津伊万里道路 南波多谷口IC開通
2015	27年 1月 2月		



ぶどう

## 歴代水道事業管理者

順	職名	氏名	期間	備考
1	町長	中村千代松	T 2.11~T10. 8	創設認可 (T2.11)・通水 (T4.1)
2	〃	松尾廣吉	T10. 8~T14. 1	
3	〃	松尾熊助	T14. 1~T15. 6	
4	〃	坂本満次郎	T15. 7~S 4. 7	
5	〃	大串誠三郎	S 4. 9~S 9. 5	
6	〃	立川弥次郎	S10. 6~S13. 6	
7	〃	副島重次郎	S13.11~S14.10	第1次拡張 (S14.1~S14.5)
8	〃	横岳資行	S14.12~S21.11	
9	〃	松永稲吉	S21.11~S26. 4	第2次拡張 (S22.12~S23.12)
10	〃	橋口四郎	S26. 4~S29. 3	第3次拡張 (S27.6~S29.3)
11	市長	橋口四郎	S29. 4~S37. 4	第3次拡張 (S29.4~S31.11) 伊万里市発足
12	〃	山口正次	S37. 4~S45. 4	第4次拡張 (S38.12~S43.3)
13	〃	竹内通教	S45. 4~S49. 3	第5次拡張 (S46.3~S49.3)
14	水道事業管理者	森山茂	S49. 4~S53. 6	第5次拡張 (S49.4~S53.6) 管理者設置
15	管理課長	吉田弘介	S53. 6~S53. 7	第5次拡張 (S53.6~S53.7) 職務代理者
16	水道部次長	吉牟田正己	S53. 7~S55. 6	第5次拡張 (S53.7~S55.6) 第6次拡張 (S54.10~S55.6) 職務代理者
17	水道事業管理者	早田善信	S55. 7~S63. 6	第5次拡張 (S55.7~S57.3) 第6次拡張 (S55.7~S56.3) 第7次拡張 (S57.8~S60.3) 第8次拡張 (S60.8~S63.6)
18	水道部長	緒方俊	S63. 7~H 2. 6	第8次拡張 (S63.7~H2.6) 職務代理者
19	水道事業管理者	松園家晴	H 2. 7~H 6. 4	第8次拡張 (H2.7~H3.3)
20	水道部次長	田中真	H 6. 4~H 7. 3	職務代理者
21	水道部長	田中真	H 7. 4~H 8. 3	(以下管理者は職務代理者)
22	〃	前田廣次	H 8. 4~H10. 3	第9次拡張 (H9.4~H10.3)
23	〃	釘町克孝	H10. 4~H12. 3	第9次拡張 (H10.4~H12.3)
24	〃	南和夫	H12. 4~H16. 8	第9次拡張 (H12.4~H16.8)
25	〃	川原清春	H16. 9~H19. 3	第9次拡張 (H16.9~H19.3)
26	〃	尾形洋一郎	H19. 4~H21. 3	第9次拡張 (H19.4~H21.3)
27	〃	力武幸生	H21. 4~H23. 3	第9次拡張 (H21.4~H23.3)
28	〃	深浦弘信	H23. 4~H24. 3	第9次拡張 (H23.4~H24.3)
29	〃	林喜代司	H24. 4~H26. 3	有田川浄水場更新事業 (H24.4~H26.3)
30	〃	中尾俊幸	H26. 4~	有田川浄水場更新事業 (H26.4~)

## 歴代水道審議会会長

順	職名	氏名	期間	備考
1	水道審議会会長	中山春夫	S51. 8~S54.11	学識経験を有する者
2	水道審議会副会長	松瀬勲	S54.11~S56. 5	会長死亡のため、会長代行
3	水道審議会会長	斎藤正雄	S56. 6~H 6. 7	学識経験を有する者
4	〃	多久島哲雄	H 6. 8~H16. 7	学識経験を有する者
5	〃	井手稔	H16. 8~H24. 7	学識経験を有する者
6	〃	川原清春	H24. 8~	学識経験を有する者



トントン祭り